

結了

貯業第二八六四號

昭和二年五月三十日立案
昭和二年六月十日發送

局長 貯
課長 業
集 業
總 監
第一法規

通 牒 案
年 月 日

貯 金 局

各 遞 信 局 宛

小切手日附ヨリ一年ヲ經過シタル各應歲

出金繰替拂ニ對スル代リ金受領方ノ件

右ニ關シテハ五月三日貯業第一九九〇號ヲ以テ遞信公報掲載通牒置ノ

貯 金 局

處本件支拂通知書ニ對スル假受取證ハ左記様式ノモノニ一定セル旨今
回日本銀行ヨリ通報有之候ニ付了知ノ上貴管内取替局へモ可然周知方
取計相成度

記

(用紙寸法) 四六判三二切 縦六寸五分 横四寸五分

(書式第一號)		證 預 貯 金 支 拂 通 知 書	
金 額		(號)	
小切手 振出 年 月 日	年度 會計 支出 官 局	年 月 日	
債主 支 用	摘要	日本銀行	
		郵便局 御 中	

國內第三三號

昭和二年五月二十三日

日本銀行國庫局

統轄店

郵便局繰替拂ニシテ小切手振出日付ヨリ一箇年ヲ經過スルモ受取人ニ支拂了セサルモノヲ歳入金ニ組入ノ手續ヲ爲スニ際シ支拂済否ノ調査不充分又ハ遞送事故等ノタメ實際指定期間内ニ債主ニ支拂済ナルニモ不拘歳入ニ組入レラル、モノ有之候處今般之等ニ對シ左記手續ニヨリ歳出金繰替拂代リ金ヲ交付スルコト、相成候此段及御通知候也

一、郵便郵便局ヨリ本件ニ該當スル郵便局扱歳出金支拂通知書ニ一期限内支拂ト朱書附記セル日計表ヲ添へ提出ヲ受ケタルトキハ小切手振出日附ヨリ一年以内ニ於テ支拂済ナルコトヲ確認シタルモノニ限リ期限經過郵便局扱歳出金支拂通知書預リ證(書式第一號)ヲ交付シ該支拂通知書ニ歳入年度取扱應及歳入組入ノ年月日ヲ附記シタル

貯金局

上日計表ト共ニ本店ニ送付スルコト

三、本店ハ前項支拂通知書ヲ適宜取纏メ其金額ニ付大藏大臣ニ歳入金課納下戻ノ請求ヲ爲シ之カ交付ヲ受ケタルトキハ其旨貯金局ニ通知スルコト

三、本店貯金局ヨリ第一項預リ證ノ提出ヲ受ケタルトキハ之ヲ振替拂證書ト看做シ日計表ト對査ノ上歳出金ヨリ貯金局ノ預託金ニ振替ヘ歳出金支拂通知書ヲ統轄店ニ返送スルコト

四、統轄店ハ本店ヨリ返送セラレタル歳出金支拂通知書ニヨリ各應歳出金繰替拂通知書ニ歳入組入ヲ取消シ本店ヨリ貯金局ニ代リ金交付ノ旨ヲ記入シ置クコト但シ隔地拂資金更正受拂ノ計算ハ爲サ、ルコト

(書式第一號ハ前葉ト同一ニ付省略)

結了

貯業第一九九〇號

昭和二年四月廿六日立案
昭和二年五月三日公報掲載

局長 貯
課長 業
集 第一法規
總 監

公報通牒案

年月日

逓信局

貯金局

通信官署

小切手日附ヨリ一年ヲ經過シタル各廳歳
出金繰替拂ニ對スル代り金受領方ノ件

貯金局

各廳歳出金ニ對シ郵便局ニ於テハ小切手振出日附ヨリ一年内拂渡ヲ爲シタルモ取纏局ニ於ケル取纏カ右期間經過後ナルトキ該歳出金ヲ日本銀行ニ於テ既ニ歳入ニ組入濟ノ場合ニ於ケル代り金ノ受領方ハ爾後左ニ依リ處理相成度

追テ案内書ヲ發行シタル日本銀行ニ於テ右歳入ニ組入ノ手續ヲ爲スニ方リテハ同行ヨリ一應拂渡郵便局ニ其ノ拂渡濟否ヲ照會スルモ郵便局ニ於テハ拂渡濟ナルニモ拘ハラズ充分調査ヲ爲サシテ「不明」又ハ「未拂」等粗漏ノ回答ヲ爲ス向アリ爲メニ行違ヲ生シタル例モ尠ナカラサル趣ニ付テハ今後右照會ヲ受ケタルトキハ嚴重調査ノ上斯カル過誤ナキ様留意相成度

一、取纏郵便局ニ於テ一年經過後ノ支拂通知書ヲ發見シタルトキハ一應日本銀行ニ就キ代り金ノ交付ニ支障ノ有無ヲ確メ支障アルモノハ之ヲ別口トシテ日本銀行ニ送付スルコト此ノ場合毎計表ニハ餘

白ニ「期限内支拂」ト朱書スルコト

二前號ノ支拂通知書ニ對シテハ日本銀行ヨリ假受取證ノ交付ヲ受
ケ之ヲ一般ノ場合ノ振替拂證書ト看倣シ一般ノ例ニ依リ處理ス
ルコト

貯金局

國甲第三〇號

昭和二年四月十一日

日本銀行

貯金局御中

小切手振出日附ヨリ一年ヲ經過シタル

歳出代リ金受領ニ關スル件

本件ニ關シ本月八日付貯業第一五三八號ヲ以テ御照會ノ趣拜承右ハ當方ニ於テモ異議無之候此段及御回答候也

貯金局

貯業第一五三八號

昭和二年三月廿八日立案

昭和二年四月八日發送

局長
課長
集業
一法
總監

照會案

年月日

局名

日本銀行宛

小切手日附ヨリ一年ヲ經過シタル

歳出代リ金受領ニ關スル件

郵便局ニ於テ小切手振出日附ヨリ一年內ニ拂渡ヲ爲シタル歳出金ニ對

貯金局

シ右期間經過後取纏郵便局ニ於テ取纏手續ヲ要スルモ既ニ歳入ニ組入
濟ノ場合ノ代リ金受領方ニ關シ大藏省ト協議中ノ處去二月一日附藏第
四一號ヲ以テ主計局長ヨリ貴行ニ對シ請求方回答ノ次第モ有之就テハ
大体左記手續ニ依リ代リ金請求ノコトニ致度ト存候處貴行ノ御都合一
應承知致度此段貴意ヲ得候

記

一、取纏郵便局ニ於テ本件ニ該當ノ支拂通知書ヲ發見シタルトキハ一應
日本銀行ニ問合セ代リ金ノ交付ニ支障アルコトヲ確メタルモノニ對
シテハ之ヲ別口トシテ處理シ日本銀行ニ送付スルコト此ノ場合日計
表ニハ餘白ニ一期限内支拂ト朱書スルコト

二、前號ノモノニ對シ日本銀行ヨリ支拂通知書ニ對スル假受取證ノ交付
ヲ受ケタルトキハ之ヲ一般ノ場合振替拂證書ト看做シテ取扱フコト

共四號

四、日本銀行本店ニ於テ前記支拂ニ對シ代リ金ヲ拂渡シ得ルニ至リタル
トキハ其ノ旨貯金局ニ通知シ義ニ取郵便便局へ交付ノ假受取證ヲ振
替拂證書ト看做シ一般ノモノト同様代リ金ヲ交付スルコト

三、貯金局ニ於テ前記假受取證^取送付ヲ受ケタルトキ
ハ通宜保管シ日本銀行本店ヨリノ通知ヲ待ツコト

貯
金
局

藏計第四一號

昭和二年二月一日

大藏省主計局長 河田 烈

貯金局長 平塚 米次郎 殿

大正十五年一月十六日附貯業第二二八號並同十月二日附貯業第五五五三號ヲ以テ御照會相成候郵便官署ニ於テ各廳歲出金ノ支拂ヲ爲シタルモノニ付之カ代リ金振替證書交付ニ關スル件了承右ハ日本銀行ニ於テ會計規則第五十六條ノ規定ニ準シ償還請求ヲ爲スヘキ筋合ノモノニ無之ト被存別紙ノ通り本件處理方ニ關シ當省次官ヨリ日本銀行ニ對シ通達致シ置候條御了知ノ上貴局ヨリ直接當該總替拂濟ニ關スル證憑書添付ノ上代リ金ヲ日本銀行ニ對シ御請求相成候様致度此段及御回答候也

貯金局

追而日本銀行ニ於テハ小切手振出日附後一年ヲ經過シタルモノ、内郵便局ヲ支拂場所トスルモノニ付テハ之カ支拂濟否ヲ當該支拂局ニ照覆ノ上歳入ニ組入方取計ヒ居リ候實狀ニ付當該局ニ於テ之カ支拂濟否ノ整理完全ナル限リ如斯過誤ヲ生セサル筈ニ付將來之カ整理ニ付一層留意方一般的ニ御訓示相成候様致度申添候

藏計第四一號

昭和二年二月一日

大藏次官 田

昌圃

日本銀行總裁 市 來 乙 彦 殿

郵便官署ニ於テ各廳歳出金ノ繰替拂渡ヲ爲シタル後取繼局ニ於テ其ノ
 行ニ對シ之カ代リ金振替拂證書ノ請求ヲ爲ス場合債主カ支拂期限切迫
 シテ現金ヲ受領セル爲又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ既ニ小切手振出口附ヨ
 リ一年ヲ經過セル爲歳入ニ組入ヲ了シ其ノ請求ニ應シ得サル場合ニ於
 ケル該代リ金交付方ニ關シ貯金局長ヨリ照會有之候處右歳入組入ハ畢
 竟拂渡局ニ於ケル支拂濟否ノ調査不充分又ハ遞送事故ニ基因スルモノ
 ト被認候然レトモ指定ノ期間内ニ支拂ヲ了シタルモノナル限り之カ支
 拂^本濟トシテノ歳入組入額ハ之ヲ更正スルヲ相當ト認メラレ候條之等

貯金局

歳出繰替拂金額ニ對シ代リ金ノ請求アリタル場合ニ於テハ其ノ請求ニ
 シテ小切手振出口附ヨリ一年以内ニ於テ支拂濟ナルコトヲ確認シタル
 モノニ限り歳入組入ヲ了シタル額ニ付テハ之ヲ誤納トシテ整理シ事由
 ヲ具シ大藏大臣ニ歳入金誤納下戻ノ請求ヲ爲シ之カ金額ノ交付ヲ俟ツ
 テ直接貯金局ニ交付ノ手續相成候様致シ度此段及通牒候也

未結了

貯業第三八〇號

昭和二年一月廿八日立案

昭和二年五月三十一日發送

局長 課長 業 一法

照會案 年月日

貯金局長

大藏省主計局長 河田烈 宛

各廳歲出金ノ取扱ニ關スル件

右ニ關シ客年十月二日付當局照會ノ貯業第五五五三號中小切手振出年月日等不明ノ分ハ取調ノ結果左記ノ通ニ有之候ニ付可然御取計相煩度候

貯金局

記

一、支出官所屬廳 東京大林區署二五一四番ハ大正十二年十二月二十日

振出

一、同 横須賀海軍經理部集合三五六番ハ大正十三年三月廿

七日振出

一、同 不明一〇三一番ハ横須賀海軍經理部一〇三一番ニシ

テ大正十三年九月二十二日振出

一、同 横須賀海軍經理部三五三番十三年九月振出ハ大正十

三年三月廿七日振出

貯業第五五三號

大正十五年九月二十七日立案
大正十五年十月二日發送

局長 業 一法
課長

照會案 年 月 日
貯金局長

大藏省主計局長 河田烈宛
各廳歲出金ノ取扱ニ關スル件

右ニ關シ本年一月十六日附貯業第二二八號ヲ以テ御照會致置候處尙歲
出金支拂通知書カ遞送途中亡失ノ爲メ代り金ノ振替受入ニ至ラスシテ
小切手振出日附ヨリ一年ヲ經過セルモノ目下左記ノ通り有之候ニ付此

貯金局

種ノモノニ對シテモ前照會ノ分ト併セテ其ノ代り金ノ受領方ニ付御配
意相煩度此段重ネテ及御照會候也

小切手振出月日	同番號	同金額	拂渡月日	銀行名	支出官所屬廳名
大正十二年十二月二十日	二五一四	六〇〇	大正十三年一月九日	本店	東京大林區署
大正十三年四月二十日	四七	四二〇〇	四月二十八日		第一師團 經理部
四月二十一日	四七	八〇〇〇	四月二十八日		
四月二十五日	一七八六	一一四七五	四月二十八日		
三月二十七日	集合 三五六	九〇〇	四月十八日	横須賀	横須賀 海軍經理部
三月二十一日	三六〇	九〇〇	十一月九日		
九月二十一日	一〇三一	九〇〇	十月十四日		
十月二十八日	九九〇	五四四	十月二十二日	横濱	神奈川縣廳
十月二十八日	九九一	五四四	十月二十二日		

									三月二十七日
									三五三
									九〇〇
									大正十四年 三月十六日
									横須賀
									横須賀 海軍經理部
								計	
								一〇	
								二八九六三	

貯金局

共四號

未結了

貯業第三〇三一號

大正十五年五月十七日立案

大正十五年五月二十日發送

事務官

一法

課長

回 答 案

年 月 日

業 務 課

集 計 課 宛

各廳歲出金ニ關スル件

對貯集第一一〇六號五、一三

右ハ代リ金ノ振替受入方法ニ付大藏省へ照會中ニ付同省ヨリノ回答ヲ
俟テ何分ノ通報可致ニ付了知相成度

貯 金 局

「朱書」

浮書不要

本件審議模様電話ヲ以テ大藏省へ照會ノ處其後事務多忙ノ爲メ未
タ審議ノ進ヒニ至ラサル趣ニ付至急解決ノ上回答方ヲ依頼シ置ケ
リ

貯集 第一一〇六號 督 促 大正十五年五月十三日

集 計 課

業 務 課 御 中

各 廳 歲 出 金 ニ 關 ス ル 件

貯 集 第 三 八 九 一 號

右ヲ以テ客年十二月七日照會置ノ處于今何等回答ニ接セス事務處理上ノ都合モ有之ニ付何分ノ回示煩タシ

貯 金 局

共 四 號

未結了

貯業第二二八號

大正十五年一月十三日立案

大正十五年一月十六日發送

事務官

業 第一法規

局長

課長

照 會 案

年

月

日

貯 金 局

大藏省主計局宛

各廳歲出金ノ取扱ニ關スル件

各廳歲入金及歲出金取扱規則ニ基キ郵便局ニ於テ隔地ノ債主ニ歲出金ノ支拂ヲ爲シタル後同規則第七條ニ依リ取經局ニ於テ日本銀行へ其ノ代リ金振替抽證書ノ請求ヲ爲ス場合債主カ期限切迫受領ノ爲メ既ニ小

貯 金 局

切手振出ノ日附ヨリ一年ヲ經過セルモノ往々有之右ハ當局ニ於テ代リ金ノ振替受入ヲ爲ス能ハス取扱上支障不尠ニ付右ノ場合ハ便宜日本銀行ニ於テ取經局ノ請求ニ依リ會計規則第五十六條ニ準シ之カ償還請求ヲ爲シタル上代リ金ノ交付ヲ受クル様御配意ヲ得度此段及御照會候也

「朱書」

(参照)

各應歳入金及歳出金取扱規則抜萃

第六條 日本銀行所在地外ニ於テ支拂ヲ受クヘキ債主ニ於テ支出官ヨリ郵便局扱歳出金支拂通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ受領成日ヲ記入シ記名調印ノ上之ヲ當該郵便局ニ差出シ其ノ拂渡ヲ請求スヘシ郵便局ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ支拂通知書ヲ日本銀行ヨリ送付ニ係ル各應歳出金繰替拂案内書ニ對照シタル上之カ拂渡ヲ爲スヘシ

第七條 前條ニ依リ郵便局ニ於テ歳出金ノ拂渡ヲ爲シタルトキハ其ノ支拂通知書ヲ取經郵便局ニ送付スヘシ

取經郵便局ニ於テハ拂渡郵便局ヨリ送付ニ係ル支拂通知書ヲ取經メ之ニ日計表ヲ附シ當該日本銀行ニ送付シ之ニ對スル代り金振替拂證書ヲ受取ルヘシ

貯金局

貯金局ニ於テハ前項ノ代り金振替拂證書ニ依リ日本銀行本店ヨリ其ノ代り金ノ振替受入ヲ爲スヘシ

「朱書」

會計規則拔萃

第四十八條 支出官隔地ノ債主ニ支拂ヲ要スルトキハ支拂場所ヲ指定シ日本銀行ニ之カ資金ヲ交付シ其ノ旨ヲ債主ニ通知スヘシ
 前項ノ規定ハ隔地ノ出納官吏ニ資金ヲ交付スル場合ニ之ヲ準用ス
 第五十二條 日本銀行第四十八條ノ規定ニ依リ資金ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ小切手ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ債主又ハ出納官吏ニ對シ之カ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第五十三條 毎年度小切手振出濟金額中翌年度五月三十一日迄ニ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スル資金ハ會計法第二十六條ノ歲計剩餘ニ組入レス之ヲ繰替整理スヘシ
 第五十四條 前條ノ規定ニ依リ繰越シタル資金中小切手振出日附ヨリ一年ヲ經過シ未タ其ノ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スルモノハ之

貯金局

ヲ其ノ期間満了ノ日ノ屬スル年度ノ歳入ニ組入ルヘシ
 前項ノ規定ハ日本銀行第五十二條ノ場合ニ於テ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スル資金ノ返納ニ付之ヲ準用ス

第五十五條 支出官小切手ノ所持人ヨリ償還ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テハ之ヲ調査シ償還スヘキモノト認ムルトキハ事由ヲ具シ證書類ヲ添ヘ之ヲ所管大臣ニ提出シ所管大臣ハ審査ノ上之カ支拂ヲ大藏大臣ニ請求スヘシ

第五十六條 前條ノ規定ハ支出官第五十二條ノ場合ニ於テ其ノ支拂ヲ受ケサル債主又ハ出納官吏ヨリ更ニ支拂ノ請求ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

貯集第三八九一號

大正十四年十二月七日

貯金局集計課

業務課御中

各廳歲出金ニ關スル件

取經郵便局ニ於テ各廳歲出金繰替拂ニ對シ取經計理ノ上該當日本銀行ヨリ繰換拂證書ヲ受領シ得ル期限ハ會計規則ニ依リ小切手振出し日附ヨリ壹ケ年以内ニ有之事故照複又ハ債主カ期限切迫受領等ノ爲メ壹ケ年經過後ハ代リ金補填受入ノ途無之ニ付詮議ノ上何分ノ回報相成度追テ參考ノ爲メ取扱口數金額及代リ金受入不能ニ歸シタル口數金額調書添付ス

貯金局

調書

大正自十三年四月一ヶ年間取扱口數金額
 六三、九五八口 六八、二〇七、四三〇、二一一

全年度中代り金受入不能ニ歸シタル口數金額

一〇口 二八、二一一〇

此内譯左記ノ通り

記

貯金局

拂渡年月日	全上局名	口數	金額	所屬銀行名
一三、四二八	東京、池袋	三	二、三六	本店
四一八	千葉、滑川	一	九〇〇	横須賀
四三〇	神奈川、鶴見	一	一、五〇〇	岩見澤
五九	十勝、止	一	九〇〇	横須賀
一〇、一	四谷、新宿	一	一、八二〇	横須賀
一〇、一四	茨城、小栗	一	九〇〇	横須賀
一〇、三	岩手、伊保内	一	六〇〇	盛岡
一四、三一六	東京、高田	一	九〇〇	横須賀
計		一〇	二、八二〇	